

# 国際貢献と SDGs



参加費  
1000円/人  
パレスチナの  
お茶菓子付き

## —パレスチナのガザ支援から—

認定特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター・パレスチナ事業

パレスチナの中でもガザ地区は社会的・経済的に非常に困難な状況にあります。日本国際ボランティアセンター（JVC）は、最もその影響を受けやすい子どもの栄養失調予防・改善事業を継続してきました。

本講座では、9月にガザから帰国される大澤氏をお迎えし、支援の現状、またSDGsとの関係について語っていただきます。



# 2019. 10. 6 [日]

開催時間／13:30～15:30（開場／13:15）

会場／大津市市民活動センター中会議室

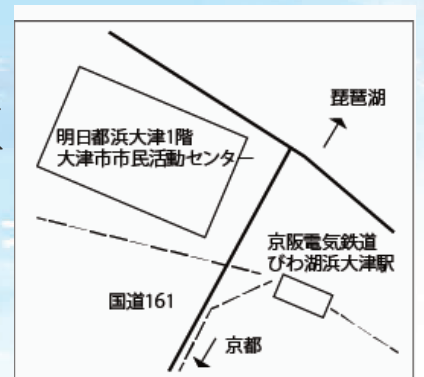
◎ 京阪京津線「びわ湖浜大津駅」より徒歩約2分

◎ JR琵琶湖線「大津駅」より徒歩18分

連絡先／大津市市民活動センター

住所：〒520-0046 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津1階

TEL：077-527-8661 FAX：077-527-8662 email:moveinfo@movementotsu.com



## 講師紹介 大澤 みずほ氏

北海道出身。子どもの頃にテレビで貧困や紛争などに苦しむ同じ年頃の子どもたちを見て、人々の役に立つ仕事をしたいと思うようになる。看護師となって緊急医療支援に参加すべく、国内で救急医療に従事する。その中で命の尊厳や個々人の人生の選択を考えるようになり、青年海外協力隊に参加、南米パラグアイの地域病院や学校で健康啓発活動などを行う。人々が抱える問題には様々な社会的要因が複雑に関係していることを痛感し、より包括的な支援に関わりたいと考えるようになり、2018年7月、JVCへの入職に至る。



日本国際ボランティアセンターのガザ支援事業は、  
大津・SDGsくるくるチャリティプロジェクト2019の寄付先団体です  
(以下、審査員からのコメント)

山本 康夫氏 JICA関西 滋賀県 国際協力推進員

世界的に見ても最も過酷な状況に置かれている地域の1つであるパレスチナ・ガザ地区において、子どもの栄養改善と女性の保健促進員の育成はSDGsと照らし合わせて有意義である。これまでの実績と現地のネットワークや実施体制を考えれば、一過性ではなく発展的に事業を行っていくものであると思われる。可能であれば、これまでに育成された保健促進員がこれからの保健促進員の育成にも関わり、促進員同士のネットワークが形成されていくことで、より現地の人々の自立にむけた支援となっていくのではないかと考える。男性へのアプローチは育児参画も含めて大変重要であると考え。基本的な生きる権利が阻害されている状況とその改善のための活動をより多くの人々に知ってもらい関心と参加を促すためにも本活動を寄付先団体とすることは意義深い。



高橋 宗瑠氏 大阪女学院大学大学院教授、元国連人権高等弁務官事務所パレスチナ副代表

JVCは近年稀に見られるほど筋の通った団体で、申請書にもあるように政府からの資金に頼らず、「市民から市民への協力」という姿勢を貫いています。そのため市民団体としての姿勢を明確に打ち出すことができ、政府の立場などから一線を画した自由な活動ができます。また、市民同士の連携を大切にしており、申請書に記されている通り活動への賛同者の輪を東京以外に拡大する以降であることを考えても、今後大津市民活動センターと様々な協働が見込まれるかと思われます。

《関連企画・SDGsフォーラム》

### 社会全体で考えるツクルとツカウ

日本国際ボランティアセンターの大澤氏も出席されます

日時：10月7日（月）13：30～15：30

会場：スカイプラザ浜大津

京阪びわ湖浜大津駅隣（大津市浜大津1丁目3-32）

人数：100人（先着順）

参加費：1000円（SDGsのピンバッジのお土産つき）

## お申込み用紙

■お名前

■団体名

■ご連絡先



077-527-8662

または



moveinfo@movementotsu.com

大津市市民活動センター までご連絡ください。